

第1回高知県林業整備加速化・林業再生協議会の概要

場所：高知城ホール

日時：平成25年8月28日（水）13：30～14：40

出席者委員：山崎委員長、松岡副委員長、西村委員、高橋委員、楠本委員、浜田委員
大野委員

事務局：林業振興・環境部長、林業振興・環境副部長、林業環境政策課長、
森づくり推進課長、林業改革課長、木材産業課長、林業環境政策課長補佐等

1 開会

2 林業振興・環境部長挨拶

3 議事

(1) 平成25年度事業計画の変更について

事務局：高橋林業環境政策課長が総括説明

事務局：各担当課長が、平成25年度事業計画の変更について説明

(2) その他

事務局：高橋林業環境政策課長が復興関連の予算の返還について説明

●主な質疑応答

— 議事（1） —

【楠本委員】

間伐の計画量が減っている大きな要因は何か。

【林業改革課長】

造林事業の採択要件が緩和等されたため、加速化基金事業で計画していたものが造林事業で対応するよう要望の変更があった。なお、間伐の事業量全体としては、ほぼ変更がない見込みである。

【松岡副委員長】

作業道が増えているが、作業道と搬出間伐面積との関係はどうなっているのか。

【林業改革課長】

作業道は、先行して開設する場合と、間伐と同時に開設することがある。効率的な林内路網密度等を考慮して採択している。

【松岡副委員長】

シラスウナギの養鰻施設への木質バイオマスボイラーの導入をとりやめた2件の理由は。

【木材産業課長】

新しく養鰻業を始めようとしていたが断念したものと、経営状況等により断念したものである。

【西村委員】

不在村地主や境界の明確化の取り組みを県は具体的に取り組んでいるか。

【森づくり推進課長】

加速化事業で取り組んでいるほか、森林整備活動支援交付金事業でも取り組んでいる。

-----委員全員「異議なし」で了承-----

— 議事（2） —

【高橋委員】

復興予算を返還すると、26年度の定額の作業道ができなくなるが、国の新規事業等の動向は。

【林業改革課長】

定額の作業道の制度創設については、都道府県造林間伐主管課長連絡会議からも林野庁に対し要請している。ただし、現段階では情報がない。

— その他 —

委員の交代に伴い、副委員長として松岡委員が指名された。

4 閉会